

大震災からの復興と、社会保障としての 国民皆保険の拡充をめざして

【開催主旨】

今年、国民皆保険制度 50 周年という節目の年ですが、政府は TPP 参加や税と社会保障の一体改革等、社会保障としての国民皆保険制度を改悪しようとしています。

一方、東日本大震災によって、住民も医療機関も未曾有の被害を受けました。国民皆保険制度があることで助かったこともあれば、国民皆保険制度が不十分なことによる問題もあります。

こうしたことから、シンポジウムを通じて次の点を明らかにします。

- ① 社会保障としての国民皆保険制度をつかってきた歴史（高揚期と社会保障削減）を踏まえ、成果と教訓、課題を明らかにする。
- ② 同時に、社会保障としての国民皆保険制度が東日本大震災で果たした役割と教訓、課題を明らかにする。

モデレータ ○日野 秀逸

東北大学名誉教授

パネリスト ○伊藤 たてお

日本難病・疾病団体協議会代表

○岡田 広行

東洋経済新報社記者

○大竹 進（医師）

全国保険医団体連合会理事

○井上 博之（歯科医師）

全国保険医団体連合会理事

日時 7月3日(日) 13時～16時(開場12時40分予定)

場所:チサンホテル新大阪 チサンホール

【チサンホテル新大阪 地図】



「チサンホテル新大阪」

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 6-2-19

Tel:06-6302-5571

*JR「新大阪駅」正面出口より徒歩5分

*地下鉄御堂筋線「新大阪駅」7番出口より徒歩3分

主催：全国保険医団体連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-5

Tel:03-3375-5121

Fax:03-3375-1862

参加費は無料です。あらかじめお申し込み下さい。
資料は当日お配りします。

お問い合わせ先：事務局：滝本博史